

●児玉高校ホームページ●

<http://www.kodama-h.spec.ed.jp/>



阪神タイガースとオラの後輩、
新井亮司選手を気合いれて
応援すんべえ！



滞空時間の長いホームランをレフトスタンド上段に突きさしてくれー がんばれ新井！

写真提供 児玉高校

時の針

発行 児玉高校同窓会
会長 松本 一夫
発行責任者 金井やよひ
事務局 児玉町八幡山
410
県立児玉高校内

◆児玉高校ホームページの紹介◆

前号でご紹介しました母校ホームページのアドレス (<http://www.kstj.ne.jp/>) が変更になりました。

ホームページの中には、「掲示板」もあり、母校の現在の様子、後輩たちの活躍の様子など自由な書き込みが盛んに行われています。ここにはパソコンはもちろん携帯電話によるあなたからの情報の書き込みもできます。

全日制のページ、定時制のページ、生徒会のページなど母校の話題などの閲覧が可能となっています。

《児玉高校ホームページによる》
そ。次の時代に向けて児玉高校も変化の時を迎えています。ホームページによる情報の提供もその一つです。日本でもコンピュータネットワークの利用者が飛躍的に増大し、様々な情報がパソコンで得られるようになりました。この新しいメディアで私たちの児玉高校をご紹介しますと思います。

児玉高校は埼玉県最北部の児玉

郡に位置し、創立八十年を迎える歴史の中で地域の発展を支える多くの人材を育成してきました。現在は「普通コース」六クラス(二、二年は五クラス)、「体育コース」二クラス編成で八二〇人の生徒が学んでいます。「地元根ざした学校」のとおり、自転車通学が八割以上です。

児玉高校は戦国時代の昔、武田信玄と戦った北条氏の出城「雉が岡城」の跡地にあり、敷地まわりにはかつての堀の跡である水路がのこされています。遠く上州の山々を望む緑ゆたかな森に囲まれ、落ち着いた静かな環境のもとで勉学、部活動に励む生徒達のいきいきとした声がキャンパスにこだまします。

当ホームページは開設したばかりで不十分などところも多々ありますが、児玉高校の概略を知っていただけたらと思います。どうぞごゆっくりご覧下さい。ホームページより抜粋》

副会長 瀬山 尚志

いあごわい

同窓会会長
松本 一夫

同窓生の皆様、お変わりなくお過ごしのこととご推察申し上げます。日頃は会の活動にご協力賜わり誠にありがとうございます。十五年には母校が創立八十周年を迎えることができ、誠に喜ばしいことであります。そして十五年三月には創立八十周年記念誌が発刊され、同窓生の多くの皆様にご協力をいただきましたことに改めて深く感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

第十三号で紹介しましたように母校も児玉高校インターネットホームページが開設され、落ちついた静かな環境のもと勉学、部活動に励む生徒達が紹介され生き生きとした声が聞こえてくるようです。母校も体育コースを取り入れて十年経た今日、柔道部、女子バスケットは連続全国大会に駒を進め、十五年には定時制もバスケットで全国大

会第三位入賞を果たす大活躍でした。

さて、毎年の恒例事業の一つであり

ます新年会も十五年は八十周年を記念してチェロ奏者の須田先生を迎えて校歌を含め五曲演奏していただき花を添えることができ、楽しいひとときを百

余名の皆様と過ごすことができました。親睦旅行も来賓として学校当局を迎え、毎年十一月に実施し、出合いを楽しんでいます。同窓会の活動の原点

とは、同窓会員相互の親睦を深めることにより母校の発展を図り、ひいては地域社会の発展に寄与することだと思

います。創立八十周年を迎えた今日、同窓会を守り、発展させていく過程で生き生きとした同窓会活動を推進してい

くには会員皆様方一人一人の活動への参加が何よりの原動力です。恒例の行事を実施するとき、会員の皆様方全てに連絡ができませんので、最寄りの本部役員に電話で気軽に申し込んで下さい。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

同窓生各位のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。

自先の利益にとらわれない生徒を

校長
松本 軍征

平成十五年三月三十一日をもって、関田校長先生が定年退職されました。その後任として着任いたしました。よろしくお願い申し上げます。

同窓会の会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝で御活躍なされていることとお喜び申し上げます。本校の教育活動の推進

につきましては、日ごろ格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。本校も、平成十四年度には、創立八十周年を迎え、創立八十周年記

念誌、同窓会員名簿の発行など役員の皆様方の苦労は大変であったと思います。

平成十五年度(一学期末まで)の生徒の部活動の状況ですが、関東大会へ男子の柔道部、女子のバスケットボール部が出場、また、

全国大会へは、女子のバスケットボール部、定時制の男子バスケットボール部が出場するなど活躍をしております。

小説家の深田祐介氏は、その作品の中で、日本企業の海外進出について様々なあつれきが生じていることを良く指摘しており、日本企業への忠告として「風が吹けば桶屋が儲かる」式の因果話してはありませんが、商売をするなら商売に無関係な話をするのだとしております。

外国商人、企業と取引をするのに、すぐに取引の話をしてはならない。その前に文化論、芸術論を話題とし、信頼するに足る教養人であると認識されることによつて、取引の話も円滑になるといふことのようにです。

日本が今後とも貿易で経つためにも相手国の痛みを理解せず金儲けにのみ奔走すれば、孤立化は避けられません。直接的に売ることだけを考えずに、文化交流、人材

派遣などの遠まわりかもしれない道を選ばないと大変なことになると思います。

生徒たちを教育するに当たって、直線的、直接的効果を狙う考え方に終始して、受験のためだけの勉強をするような生徒は育てたくない、受験には遠まわりなように思われる教科科目の学習も、そして部活動にも積極的に参加する生徒を育てたいものと考えております。

そのような幅広い生き方をする生徒ほど多面的な能力を身につけることができますし、経験から見ますと受験においてもそのような生徒が成果を上げることが多いように思われます。さらにそのような生徒は、社会に出てからも活躍することが可能であると思います。

自己の利益のみを追求して他人に疎まれる秀才よりは、他人の心の傷みがわかり、目先の利益は得られずとも、長い間には周囲の温かい援助や理解を得られる好人物の方が、結局得をすることになる

と思います。目標に直線的ではあるけれども一歩も横に身体を移すこともできない狭い道は歩かせたくない。多少曲がって遠いけれども自由に身体を移動させることのできる幅広い道を選択させたものと思っております。

目先の損得にこだわらない、大きな視点を持った生徒を育てることが、永い歴史と伝統を持った本校のさらなる発展に寄与できるのだと信じております。

本校のさらなる充実・発展のため、今後とも、同窓会の皆様の格別の御支援、御協力をお願い申し上げます。



我慢こそ力

女子バスケット部

監督 根本 靖雄

コーチ 高島 美希

同窓会の皆様お元気ですか、私は今年で児玉に来て八年目になります。児玉町の城山の桜も毎年たくさんの人達が見に来て児玉の伝統の深さを感じる事が出来ます。そして高木先生よりひきついだ女子バスケット部も城山の桜の様に毎年きれいな花を咲かせてくれていきます。昨年はインターハイ連続二年出場と初のウィンターカップ出場と全国のタイトルを全てとりインターハイでは大阪代表の全国優勝経験もある薫英女学院に勝つ事が出来ました。しかし今年はずいぶんまでの主力がほとんどぬけ、けが人も多くせつかくの児玉町関東大会も埼玉五位出場となり二回戦負けという結果に終わってしまいました。三年生は結果が出せない事や自分達の力のなさ伝統が切れるプレッ

シャーなど保護者ともども大変悩んでいました。そんな中、三年生全員が六月から私の住んでいる寮に入ることになり朝七時からの練習、夕方三時間、食事をとってから夜十時まで練習とチーム一丸となりインターハイ出場という目標に向かい頑張つて来ました。しかし主力の三人の怪我は治らず私にとっても大きな試練になりました。みんなこれは神様がわれわれにくれた宝物だ、そう思い乗り越えよう、全員の力をひとつに



して乗り越えよう、そう考え心を一
つにして来ました。結果一位、二位、
三位のチームをわずかな差で破る事
が出来三年連続長崎インターハイに
出場することが出来ました。同窓会
の皆様あなた方の愛する児玉高校の
後輩達はやってくれたのです。学校
の職員ましてバスケット界の先生方
までこのミラクルに驚いていました。
この間までベンチにも入るかどうか
わからない選手や中学校を卒業した
ばかりの一年生など試合に出すには
はずかしいぐらいの選手ですが最後
まで諦めず、ねばり、声を出しかけ
がえのない結果を出すことが出来ま
した。そうなんです我慢、我慢愚痴
を言わず我慢これこそ力なのです。

りがとう大事
な生徒たち。
城山の桜に負
けないようこ
れからも皆さ
んに心から喜
んでくれる花
を咲かせます。
有難うござい
ました。

一回戦	82-69	沼津中央 (静岡代表)
二回戦	85-72	明秀日立 (茨城代表)
三回戦	66-86	東京成徳 (東京代表)
		結果 ベスト16

全国高等学校定時制通信制 バスケットボール大会 第三位入賞報告

定時制教頭 埴岡 正人

本校定時制男子バスケットボー
ル部は、東京都千駄ヶ谷にある東
京体育館を会場に、七月三十一日
より開催された第十三回全国高等
学校定時制通信制バスケットボー
ル大会に、埼玉県代表として出場
しました。

富田、黒川両顧問の指導の下、

さらには多くの方々のご協力に支
えられ、今年の二月より厳しい練
習を積み重ねました。その結果、
五月に行われた県大会では、練習
で培った力を発揮し、トーナメン
トを勝ち進み、見事優勝、全国大
会出場の切符を手にすることがで
きました。

全国大会には、全国各都道府県
代表四十八校が出場しましたが、
各地区の代表校はそのほとんどが
全国の常連校のようでした。試合
の経過は、二回戦での北豊島高校
(東京都代表)との対戦は、延長戦
にまでなる激しいものでした。ま
た、郡山萌世高校(福島県代表)
とのベスト4入りをかけた準々決
勝戦では、試合時間残り一分で逆
転し、そのまま一点差で逃げ切り
ました。全国第三位という快挙を
成し遂げることができたのも、最
後の最後まであきらめず、お互い
を励ましあい、粘り強くのびのび
と自分たちのプレーに徹した結果
だと思われれます。



一回戦試合前、応援団と一緒に記念撮影

今大会の出場に際しましては、
同窓会ははじめ、多方面から力強い
激励や、温かいご支援ご声援を賜
り誠にありがとうございました。
今後ともよろしくお願い申し上
げます。

あの人は今

地域の高校に育てたい



同窓会相談役 林 喜一

昭和二十三年希望に胸をおどらせて児玉高校の門をくぐった私たちも古稀を迎えて、社会の第一線から退いた者も多い。旧制本庄中学に入學した私たちは、学制改革により本庄高校併設中学を卒業したが、男女共学のモデル校として発足した児玉高校へ、児玉町を中心とした近隣の町村の者たちは、ほとんど転入學をした。三年間の厳しくも、楽しい高校生活を送った私たちの多くが進學した。東大、京大、群大、埼大をはじめ早大など狭い門を突破し入學した。高校や大学を卒業後、政治、経済、教育などの分野で地域社会発展のために貢献した者も多い。

時代が変わり、昭和四十年代よ

り学習成績による輪切りの進學指導が行なわれるようになった。児玉地域の何割かの子供たちは長距離通學をしている状況が現在も続いている。高校や教師に格差はない。児玉高校には立派な施設があり、優秀な教師がそろっており学習環境は整っている。長時間かけて通學するよりも学校が近ければ、学習や心や体にもゆとりが持て高校生活が充実したものになるのではないだろうか。勇気を持って地域の高校を選びたい、親たちにも助言させたいものである。そのことが将来の児玉地域の発展の原動力となる人材の育成につながるものと思われる。

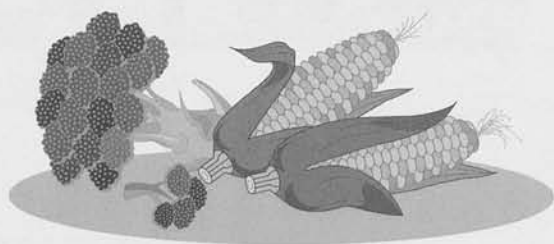
明日の夢ある農業へ

大沢 次雄 (第十九回卒)

雄大な赤城山、榛名山を望む北関東平野、ここは埼玉県大里郡岡部町榛沢新田、土壌と水に恵まれ、私は専業農家として、主にとうもろこし「味来」とブロッコリーを生産している。

近年は若い人の農業離れが進み、後継者は育っていないが、私は農業が好きである。土に触れ、自然と向かい合い、光を浴び汗を流す、毎日が気候と成育に気をつかい、安全、安心をモットーにして、出荷する時は、ホッとすると同時に、生きがいを感じます。特にブロッコリーは「甘味」・「食感」・「歯ごたえ」とも最高で、東京の高級スーパーを始め日本中に出荷しています。

更にあくなき品種改良と前進



で「日本一」を目指し頑張っていますので、ぜひ一度ご賞味下さい。明日の夢ある農業への支援をよろしく願います。

児玉高校とその周辺



正門



体育館



記念碑

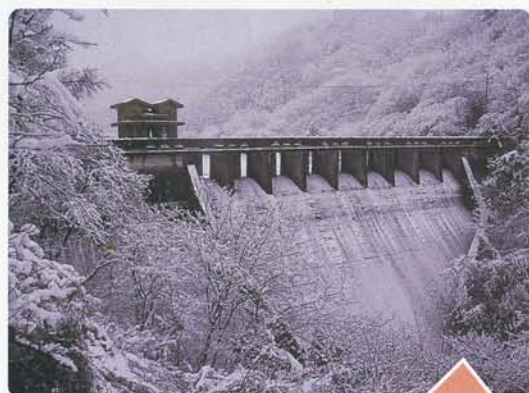


本校の制服

城山



小山川 (風洞付近)



間瀬湖



小平、百体観音



神川、金鑽神社

思い出

なつかしの運動会

岡本 哲也(高十七回卒)

なんと懐かしい写真だろう。まさに高校時代の思い出の一ページである。三年の運動会るとき私が応援団長で、真ん中でカップを持っている鈴木君がキャプテンを勤め、総合優勝した時の実行委員の記念写真であると記憶している。一年生

から三年生までの班で写真を見て、も数人しか名前が出てこないのが、ともに戦った仲間には申し訳ないと思う。頭も白くなつた今、見るのも少し恥ずかしい写真ではあるがこの頃の事が走馬灯のようによみがえってくる。たしか、前年まではいろいろな飾り付けをした派手な運動会であったがこの年からシンプルな運動会となり何とか特色を出そうと熊谷高校だか深谷高校だか記憶が定かでないが応援団員に三三七拍子の特訓を受けた。「フレイフレイ白組」の声とともに指先の形まで直されたものだ。



昭和39年秋季運動会

また、教室で鈴木君が前に出て応援の練習をしているとき、ぱつと足を開いた瞬間、黒ズボンの真ん中が白くなつた。一瞬シーンとなり、女性陣が「キヤー」と目を覆い、慌てて椅子の座布団で前を隠したことがあった。見事にズボンの真ん中が裂けた一瞬であった。競技の成績や内容は記憶に出てこないが、三年年の実行委員でがんばつたひと時の思い出は人生のオアシスとして甦ってくる。

写真を楽しむ

瓜田 文雄(定十六回卒)

私がカメラを最初に手にしたのは、児玉高校の科学実験棟に在籍していた昭和三十八年頃で、キャノネット(カメラ名称)がヒットしていた様に記憶している。実験棟でもこのキャノネットを

使っていたので時々借用しては、シャッターを切っていた。フィルムは白黒が主流という時代であった。幸いに実験棟の片隅に写真部所有の暗室があり、部員と試行錯誤しながら現像を楽しんだ。そんなきっかけで、社会人になつても趣味の一つとしてカメラがある。私が写真を撮ることに魅力を感じるのには、ファインダーを覗きながらピント合わせ・露出設定などに集中している時や、どんな写りに



03.夏 上高地かつば橋

なつたか出来上がりを待つ時、そして、末永く自分だけの財産として残るということ。更に加えれば、遠くへ撮影に出掛けた時に珍しい風景・食べ物・温泉や森林浴などとの出遭いもあったり、この上ない心の洗濯にもなる。これからも広く野山に出掛けては写真の知識・技能を磨こうと思っている。

「同窓会」について思う

岩上 高男 (高二十一回卒)

同窓会役員として参加することになった契機は、既に役員であり勤務する職場の先輩T氏より「社会で活躍している卒業生として三分間スピーチをやってもらえないか」との甘誘いに、ついうっかり承知してしまったことでした。それなりの年齢で、時間的にも余裕ができたので協力させていただきましたことにしました。所属した委員会が「ルネサンス委員会」といい、同窓会の中でも耳新しい委員会です。当時委員長であった松本会長の情熱と母校愛に満ちた熱弁、行動力について行き、既に十年が過ぎました。「同窓会」大方の卒業生は「遠くのこと、私には関係ない」と思うことと思います。同窓会があるから、役員皆様の尽力により、母校の近況を知ることができ、往

時のことを懐かしく思い返すことができるのだと思います。是非、会員各位の協力と参加を。

活動報告

幹事 立花 勲

ここ数年、「時の針」は隔年の発行となつていますので、活動報告も十四年度から十五年度にかけての報告とさせていただきます。

まず、十四年度は、五月二十五日の総会から始まり、十一月十四日の親睦旅行、新年会と続き、三月には母校卒業生を迎えての入会式、記念誌、名簿の発行等々で終了しました。

親睦旅行をとりあげてみますと、東京江戸博物館、寅さん記念館とアットホーム的なたびとなりました。前年の長野方面とはひとあじ違ったものとなりました。

十四年度中の特筆すべき事業としては、母校創立八十周年記念誌の発行、また会員名簿の発行があげられます。この発行にあたっては大勢の皆様のご協力のもと実施できましたことお礼申し上げます。

十五年事業としては、五月十七日の総会を終え、皆様のお手元に「時の針」が届く頃には、親睦旅行、新年会も終わっている頃だと思いません。

事業内容もほとんど定着化しているため、会員各位からの提案があれば、是

非参考にさせていただきますと思います。



平成14年 親睦旅行 (東京江戸博物館にて)

本 部 役 員 名 簿

役 職	卒業回	氏 名	〒	現 住 所
相談役	高3	吉 川 幸 男	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉81
"	"	林 喜 一	367-0118	埼玉県児玉郡美里町広木2786
"	"	梅 澤 仁	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉69
顧問	高18	田 島 敏 包	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町大字児玉2477-6
会 長	高10	松 本 一 夫	367-0247	埼玉県児玉郡神川町元阿保552-2
副会長	高9	根 岸 義 守	367-0217	埼玉県児玉郡児玉町八幡山139
"	高16	吉 田 豊 彦	367-0217	埼玉県児玉郡児玉町八幡山238-6
"	定19	田 島 勇 八	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉1532-2
"	高22	瀬 山 尚 志	367-0051	埼玉県本庄市本庄2-7-9
"	高20	沖 村 良 子	367-0216	埼玉県児玉郡児玉町金屋905-10
幹 事	高8	高 木 清 憲	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉1322-8
"	高13	高 柳 和 夫	367-0002	埼玉県本庄市仁手325
"	高18	立 花 勲	367-0214	埼玉県児玉郡児玉町小平818-1
"	高23	川 上 守 之	367-0217	埼玉県児玉郡児玉町大字八幡山336-2
"	高17	石 井 敏 郎	367-0105	埼玉県児玉郡美里町沼上626
"	高48	高 島 美 希	367-0045	埼玉県本庄市柏1-5-33
監査役	高3	倉 林 栄 市	367-0216	埼玉県児玉郡児玉町大字金屋68
"	高27	遠 藤 武 美	367-0216	埼玉県児玉郡児玉町金屋786-22
理 事	高4	新 井 初 枝	367-0044	埼玉県本庄市見福2-13-3
"	高7	伊 藤 フ サ	367-0216	埼玉県児玉郡児玉町金屋1298-8
"	"	寺 崎 一 江	367-0213	埼玉県児玉郡児玉町秋山2592-5
"	高8	木 村 史 雄	369-1731	埼玉県児玉郡児玉町稲沢589
"	"	小 林 太美枝	367-0115	埼玉県児玉郡美里町猪俣1317
"	高9	倉 林 秀 美	367-0115	埼玉県児玉郡美里町猪俣520-2
"	高10	秋 間 喜代子	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉47
"	"	高 橋 百里子	367-0204	埼玉県児玉郡児玉町蛭川110-1
"	高12	荒 井 一 夫	367-0211	埼玉県児玉郡児玉町吉田林144-2
"	"	中 林 都 明	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉341
"	高13	笠 原 従 子	367-0216	埼玉県児玉郡児玉町大字金屋895-4
"	"	根 岸 勝 利	366-0811	埼玉県深谷市人見706-2
"	高14	長谷川 昌 則	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉2492-4
"	高16	田 島 瑣智子	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町大字児玉2477-6
"	高17	鈴 木 政 弘	367-0217	埼玉県児玉郡児玉町八幡山160
"	"	熊 倉 清 治	369-0225	埼玉県大里郡岡部町沓掛254
"	"	桜 井 直 子	367-0042	埼玉県本庄市本庄3-5-9
"	高18	出 牛 幸 平	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉380
"	"	木 村 葉 子	367-0244	埼玉県児玉郡神川町大字八日市524-2
"	"	渋谷 正 敏	367-0205	埼玉県児玉郡児玉町上真下355
"	"	山 崎 康 雄	367-0211	埼玉県児玉郡児玉町吉田林133-1
"	"	斉 藤 定 一	367-0200	埼玉県児玉郡児玉町連雀町180
理 事	高19	峯 岸 栄	367-0211	埼玉県児玉郡児玉町吉田林87-6
"	"	浅 見 透	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉1223-5

理事	高19	安 齊 彰	367-0105	埼玉県児玉郡美里町沼上234
"	"	金 井 やよひ	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉335-23
"	"	久 保 佐代子	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉2494
"	"	芦 沢 吉 一	367-0025	埼玉県本庄市西五十子429
"	"	鈴 木 薫	367-0118	埼玉県児玉郡美里町広木680-1
"	"	森 田 菊 江	367-0053	埼玉県本庄市中央3-2-5
"	高20	澤 本 美喜雄	367-0216	埼玉県児玉郡児玉町金屋61-15
"	"	角 谷 清 子	369-0307	埼玉県児玉郡上里町嘉美593-1
"	高21	岩 上 高 男	367-0211	埼玉県児玉郡児玉町吉田林906
"	"	堀 越 久 夫	367-0226	埼玉県児玉郡児玉町宮内160
"	定18	岩 丸 彰 男	367-0301	埼玉県児玉郡神川町渡瀬290
"	高22	黒 沢 洋 子	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉2512
"	"	武 内 順 子	367-0213	埼玉県児玉郡児玉町秋山1203
"	"	小 林 修	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉368
"	高23	脊 山 知 教	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉27
"	"	石 坂 清 子	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉36-1
"	"	阪 本 和 絵	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町大字児玉545-6
"	高24	福 島 慎 治	367-0216	埼玉県児玉郡児玉町金屋1260-7
"	"	石 原 秀 一	369-0315	埼玉県児玉郡上里町大字大御堂520-1
"	高25	金 井 保 夫	369-0306	埼玉県児玉郡上里町七本木3051-3
"	"	奥 原 栄 一	367-0223	埼玉県児玉郡児玉町塩谷268-3
"	定24	奥 原 好 彦	367-0223	埼玉県児玉郡児玉町塩谷906-30
"	高27	小 倉 正 貴	367-0217	埼玉県児玉郡児玉町八幡山192
"	"	高 木 弘 之	367-0222	埼玉県児玉郡児玉町田端350-1
"	"	秋 山 和 広	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉93-5
"	"	落 合 崇 志	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉100
"	"	今 泉 好 美	369-0313	埼玉県児玉郡上里町堤673
"	高29	芳 野 勇	369-0306	埼玉県児玉郡上里町七本木3501-97
"	高33	石 川 克 彦	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉250-2
"	高34	飯 野 晴 美	367-0118	埼玉県児玉郡美里町広木2812
"	高41	長谷川 志野夫	367-0044	埼玉県本庄市見福2-26-11
"	"	細 田 明	367-0223	埼玉県児玉郡児玉町塩谷543-2
"	"	中 西 昭 子	367-0212	埼玉県児玉郡児玉町児玉388-17

●編集後記●

卒業生二万人の皆さん、お元気で
しょうか。公報「時の針」十四号を
お届け致します。

今会報は、高校ホームページ、大
活躍のクラブ活動、思い出、あの人
は今、カラー写真等で編集致しまし
た。

このことにより児玉高校、故郷、
なつかしの青春を少しでも想い出し
てもらえれば幸いです。ご協力いた
だきました皆様、ありがとうございます
ました。

尚、次十五号は、記念特集として
紙面を拡大して、皆様の原稿を募集
致します。現況、意見、詩、当時の
思い出、等をお寄せ下さい。
お待ちしております。

(広報委員会)

編集・発行

〒三六七―〇二二七

埼玉県児玉郡児玉町八幡山四一〇

埼玉県立児玉高等学校内

児玉高校雉岡会(同窓会)

電話〇四九五―七二―一五九一